

令和7年度 黒潮町通学路安全対策連絡協議会 道路管理者等改善計画確認表

要望学校名	報告書No. (ページ)	危険内容	新規 継続	路線名		場所	要望の概要	道路管理者等	改善計画等の内容
拳ノ川小学校	1	防犯	新規	町道	荷稲拳ノ川線	荷稲（八坂神社付近）	・土佐くろしお鉄道 荷稲駅から数百mのところにある八坂神社は、大きな木があり鬱蒼としていて人目が届きにくく不審者等の心配がある。地域住民および保護者からも心配の声があがっている。 ・本校では、荷稲地区の児童がこの付近を通っており、特に日没が早くなる秋以降の夕方の帰宅時間帯が心配である。	町教育委員会	神社を管理している荷稲地区と協議します。
	1	交通	継続	町道	西の路線	拳ノ川	・町道西の路線については、住宅が町道のすぐそばまでせり出してきており、道路幅員もほとんどが4m幅員のない狭隘な道路で、児童の通学に危険である。 ・道幅が狭いうえに、雨が降ると土砂が崩れ落ちていることがあって危険である。	町建設課	町道西の路線の道路改良工事については、令和10年代前半に完了予定で実施中。（補助の割当や予算、用地取得や地元協議により変更の可能性あり） （拡幅、グリーン帯の設置及び一部落石対策を順次実施します。）
佐賀小学校	2	交通	継続	町道	馬地中角線	坂折から馬地の道	・山側にいくつか亀裂がある。 ・樹木が伸び道路まで生い茂っている。雨による落木もあり危険。	町建設課	樹木については維持管理にて対応します。 法面対策工事は計画をしていますが、実施時期は未定です。
	3	交通	継続	県道	中土佐佐賀線	町道中道線との合流場所	・横断歩道の白線が薄くなっている箇所がある。	町地域住民課	幅多土木より公安委員会へ要請済みです。
			継続	町道	中道線	県道中土佐佐賀線との合流場所	・道路にひび割れができており、登下校中やマラソン練習中に躓く児童がいる。	町建設課	維持管理において対応します。
	4	交通	継続	町道	佐賀中学校線		・歩道の白線とグリーンベルトが薄くなっている箇所がある。	町建設課	令和8年度中に白線とグリーンベルトの引き直しを行います。
	5	交通	継続	国道	56号	白石団地から国道56号線に入る歩道～ローソンがある辺りまでの歩道	・団地側（田畑側）にはガードレールがあるが、車道側にはガードレールがない。本校児童はこの道を歩いて通学しているが、交通量も多く登下校の安全に不安がある。	国土交通省	現地調査等を実施し、歩車道境界に車両用防護柵を設置した場合歩道の幅員が狭くなるため保留。
	6	交通	継続	国道	56号	白石団地入口国道からなぶら土佐佐賀国道を挟んだ向かい側までの歩道	・冬になると夕方児童が下校する時間に周辺が見えなくなるため、街灯の設置をしてほしい。	国土交通省	防犯の為の街灯の設置は困難
		防犯					・安全見守りの防犯カメラの設置を要望したい。	町教育委員会	R8年度に子ども見守りカメラ1台を設置する計画です。
	7	交通	継続	町道	ホソ田中角	水神坂の信号から佐賀駅の町道の舗装のやり替えと定期的な草刈り	・舗装の段差により転んだ児童が複数名おり（自転車のタイヤがはまって転倒・段差に躓き転倒）、フラットになるような舗装に希望する。合わせて定期的な草刈りを希望する。	町建設課	現地を確認しましたが、段差はあるがタイヤがはまるような溝は確認できませんでした。 草刈りににつきましては随時実施します。
	8	交通	継続	国道	56号	ローソン黒潮町佐賀店前	・横断歩道前で児童が待機しているのが両サイドの柱によって見えにくい。歩行者優先の意識を車側に伝えられるよう工夫をしてもらいたい。（押ボタン信号機の設置が一番望ましい）	国土交通省	歩行者の停止線をつくるなど工夫もできるのではないかと（停止線での待機などルールを守ってもらうことで歩行者が確認しやすくなるのではないかと）
中村警察署								設置基準に該当しないため、信号機の設置は困難である。	
9	交通	継続	国道	56号	不破原地区の直線道路（上り約300m・下り約200m）	・この区間は見通しの良い直線区間ではあるが、追い越しをかけようとスピードを上げて走行する車両が多く、以前から交通事故が多発しています。小中学生はスクールバスで登下校しており、追い抜き車線間にあるバス停を利用しているため、交通事故に巻き込まれる危険性がある。そのため何らかの交通安全対策を講じてほしい。	国土交通省	減速を促す標示・歩行者注意標示を設置済み（R7.12.8）	

令和7年度 黒潮町通学路安全対策連絡協議会 道路管理者等改善計画確認表

要望学校名	報告書No. (ページ)	危険内容	新規 継続	路線名		場所	要望の概要	道路管理者等	改善計画等の内容
佐賀小学校	10	交通	新規	県道	中土佐佐賀線	山本建設向かいエネオスから西に向けて	・路側帯の白線が消えている この区間には縁石がないため、路側帯の「安全なライン」が見えないと、子どもが不安定な位置を歩いてしまうため危険 路側帯の再塗装を希望する	幡多土木事務所	今年度区画線を設置します。
	11	交通	新規	国道	56号	国道56号線全般における年間をと おした歩道の草刈り	国道56号線の歩道について、雑草が繁殖し危険であるので、年間をとおした草刈りをお願いしたい。	国土交通省	維持管理工事にて対応予定
上川口小学校	12	交通	継続	町道	エビス線	王無団地内 国道56号線交差点部分周辺及び町道 浮津線交差点周辺	・町道エビス線交差点部が開水路となっており、幅員に余裕がなく車両及び歩行者との離合が困難な状況です。 当該路線は、通勤、通学の時間帯において児童含む歩行者との接触の危険性があるため蓋のある側溝を設置する拡幅を要望する。	町まちづくり課	昨年度に引き続き道路改良事業として蓋のある側溝の設置を実施していきます。
	13	交通	継続	町道	有井川線	有井川 藤の花から北方向の路線	全体的に幅員が狭く車の交通量も多い。	町まちづくり課	黒潮町が用地買収を行い、拡幅工事は高規格道路建設における工事用道路として国土交通省が道路改良工事中を引き続き実施していきます。
	14	交通	新規	国道	56号	上川口駅前通り西側交差点	・通勤時間帯は交通量が多く、またスピードも出ているため危険。 ・登校時間帯通行自動車の多くが、黄色信号で徐行することなく、赤信号になった手もスピードを緩めず通過する車が多く、国道南側から横断する児童にかかわって、付近の保護者が安全の見守りを行っている状況である。	国土交通省	維持管理工事にて対応予定
	15	交通	新規	町道	為の川線	上川口小学校南側フェンス沿いの町道	・道幅が狭く登下校時に車が通ると児童はフェンス沿いの斜面に上がり車を避ける状況がある。児童には少し広い場所まで移動するよう声かけを行っているが徹底していない。 ・大雨が降ると側溝からあふれるため、日頃より側溝の整備が必要である。 ・児童の登下校や車の通行にかかわって、側溝に覆いがないため危険な状況がある。	町まちづくり課	側溝の維持管理については随時行います。 道路改良については現在のところ予定しておりません。
南郷小学校	16	交通	継続	町道	湊川線	奥湊川 ふれあいセンターから北方向の路線	全体的に幅員が狭く車の交通量も多い。また、一部落石箇所がある。	町まちづくり課	引き続き道路改良事業を進めております。(拡幅、グリーン帯の設置及び一部落石対策を順次実施します。)
	17	交通	継続	国道	56号	弘野前横断歩道	・押しボタン式信号が登下校時に定周期信号になり信号機も大きくなったが、依然青信号になっても注意は必要。スピードを出している車が急ブレーキを踏んでいることが度々ある。予告の信号はあるものの、それでも減速には至っていない。 ・児童横断の注意を喚起するため、横断歩道の塗り替えを要望する。	中村警察署	令和8年3月11日付けで交通規制課宛に補修上申済みです。
	18	交通	新規	町道	鞭線	湊川橋西側	・湊川に下校する児童がバスの乗り降りをする場所である。浮鞭方面に行く自動車も多く使用する。この付近の白線が薄くなり、分かりづらくなっている。児童の乗車の安全性を確保するため、白線等の塗り替えを要望する。	町まちづくり課	次年度対応の方向で検討いたします。
入野小学校	19	交通	継続	町道	藩下線	大方中学校から入野小学校までの区間	・大方中央保育所から入野小学校の道路区間は道幅が狭い。 ・児童の登下校時には保育所・中学校・高校への保護者の送迎の車と出勤する車等が重なるため交通量が非常に多くなっている。最も危険な場所としては、入野小学校校門前のカーブと大方高校から大方中学校に向かうT字路である。 特に、本校校門前から南方向へのフェンス沿いはスクールバスの発着場所であり、同時に児童の送迎の車、学童保育の迎えの車も相当数あるため児童の登下校にはとても危険であり事故が起こってからは取り返しがつかないものと考える。	町まちづくり課	現在道路改良の予定はありません。 交通安全促す方法での対策となり、まちづくり課としては、グリーンラインやとびだし注意の表示を維持管理していきます。
	2	防犯	継続	町道	松原公園内線	大方あかつき館周辺の松原に通っている道路	・人通りが少ない。 ・松林の通りは日中でも薄暗く危険性がある。 ・車が通れる道が続いており通りがかりの犯罪に巻き込まれる可能性もある。	町教育委員会	R7年度に、子ども見守りカメラを2台、防犯灯1基設置済み。
田ノ口小学校	20	交通	継続	町道	馬荷線	旧馬荷小学校から北方向の路線	全体的に幅員が狭く車の交通量も多い。	町まちづくり課	引き続き道路改良事業を進めております。(拡幅、グリーン帯の設置を順次実施します。)
	21	交通	新規	農道		小学校プール沿いの農道	本校のプール横を通る農道で、国道56号線に並行しており、時々農作業車以外にも車等が通る。児童は、2・3校時目の長休みにマラソンでこの農道を使用するが、草木が背丈ほどに伸びており、プール横を過ぎたカーブのところでは草木により見通しが悪い。時々、学校でも草木を刈るが、すぐに背丈まで伸びる。また、御坊畑方面の中学生や高校生もこの道を登下校で利用するが、時期によっては草木で見通しが悪くなるため、交通安全面や防犯上からも心配される場所である。さらに草刈りを行う際にも田んぼにイノシシの侵入を妨げる柵を設置していることから、草刈り作業もひと苦労である。	町農業振興課	農道の維持管理者は地区や耕作者であることを踏まえ対策を検討します。

令和7年度 黒潮町通学路安全対策連絡協議会 道路管理者等改善計画確認表

要望学校名	報告書No. (ページ)	危険内容	新規 継続	路線名		場所	要望の概要	道路管理者等	改善計画等の内容
三浦小学校	22	交通	継続	県道 町道	中村下田ノ口線 土橋線	三浦小方面上り口と双海サーフ ビーチ方面の三叉路	・両方向からの交通があり、特に双海側からは減速せずに通る車が多い。県外車は学校があることを認識しておらず、危険な速度で通行するので、横断歩道または路面標示が必要。	中村警察署	前回と同様、歩行者の滞留場所の確保ができないため、設置は困難である。
	23	交通	継続	県道	中村下田ノ口線	田野浦マルア海産近くの四叉路	・朝夕は交通量が多くなる。四叉路でありながら、県道を車が高速で通行するため危険である。	幡多土木事務所	減速マーク等、減速を促す路面標示を実施済みです。
	24	交通	継続	県道	中村下田ノ口線	旧南部農協前の三叉路から潮入橋 までの路側帯	・路側帯はあるが、カーブを曲がり切れない自動車はみ出してくる。また、橋が狭いため歩道の確保が難しく、通学する児童が危険な状態にある。そのため歩道の設置と歩行者専用の橋が必要と考える。	幡多土木事務所	歩道の新設に向け設計は実施済みですが、町による国土調査完了後、用地測量等事業に着手します。
	25	交通	継続	町道	土橋線	三浦小学校入り口付近および南側 道路	・見通しが悪い上に、交通量が多い。(車の速度が速く、危険を感じる) 草が道路に向けて倒れており、歩道が歩きにくい。 1学期末、雨続きの際に道路脇の崖より落石があり、通報を受けた。範囲が広く限定しにくい ため、雨天時は崖側にも注意するよう指導した。 ※危険回避のため、体育館北側避難路も利用する予定。令和5年9月6日に区長と点検し、避難路の照 明の設置が実現した。	町まちづくり課	現在道路改良の予定はありません。 交通安全促す方法での対策を関係機関と協議いた します。
	3	防犯	継続		避難道	三浦小学校体育館北側避難道	・草や木が茂っており、全体的に暗く、人通りが少ない。 避難路ではあるが照明がほとんどない。	町情報防災課	照明については、追加整備済みです。
	4	防犯	継続	町道	大向浜畑線	出口 海岸近くの集会所周辺	・県外客が多い。宿泊の車も季節によっては多い。車の出入りも多い。 子ども見守りカメラ設置済みであるが、県外から多く利用者が来るため、防犯上の危険個所として 継続。	町教育委員会	R6年度に子ども見守りカメラを1台設置済みのた め、教育委員会としては一定改善している認識とな ります。
大方中学校	26	交通	新規	町道	大方線	旧国道56号線(入野早咲)「矢 野商店」「荒井デパート」「和 や」の各交差点	3箇所の交差点とも、道路上にカーブミラーが設置されているものの、道幅が狭くて見通しが悪い ため、車や自転車、歩行者の通行を視認するのが困難である。	町まちづくり課	現在道路改良の予定はありません。 交通安全促す方法での対策を関係機関と協議いた します。